

下記(1)(2)(3)のいずれかの研究分野で研究を推進するPDを募集します。研究背景については、下記URLを参照願います。

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/satreps/project.html#id> 背景

(1) チェルノブイリ原発周辺における水圏環境中の放射性物質の動態

チェルノブイリ原発のクーリングポンドや周辺の河川・湖沼に生息する水生生物への放射能の移行や水圏生態系での放射性核種の形態変化を対象とした研究を行ないます。水生生物(魚類等)の生物学または水圏の生態学を専門とし、水圏環境での試料採集や野外調査の経験があることを望みます。

(2) チェルノブイリ原発周辺における野生哺乳類への放射性物質の移行と生物影響

森林や草地に生息する小型野生哺乳類への放射性物質の移行や放射線による生物影響に関する研究を行います。生物学、分子生物学、生態学などを専門とし、野外調査に取り組むことのできる方を期待します。採用後は、生態系への関心をベースにして、調査地を共有する他の分野との連携ができる研究者を目指して頂きます。

(3) 大気中放射性物質のモニタリング・モデリングに基づく環境影響評価手法の確立

ウクライナで大気中放射性エアロゾルの観測体制の構築、モニタリングデータベース構築、大気拡散モデルによる解析を推進することを期待します。地球環境に関心があり、研究内容に関係する分野(地球化学、気象学、保健物理学など)を専門とし、観測、データ処理、プログラミングの経験を有し、当該分野での研究業績を有することが望ましい。